

案件概要書

2012年5月25日

国際協力機構 中東・欧州部欧州課

1. 案件名（国名・サブスキーム）

国名：モルドバ共和国

案件名：医療サービス改善事業

(Project for Improvement of Medical Care Service)

2. 事業の背景と必要性

(1) 当該国における保健セクターの開発実績（現状）と課題

モルドバ共和国は、旧ソビエト時代から低開発地域として知られ、一人あたりの国民総所得（GNI）は1,810USドル（2010年、世界銀行）に留まり欧州における最貧国の一つとされている。体制移行後、公共サービス分野の国家予算が減少し、保健医療分野については需要に応じた医療サービスが適切に供給されないといった課題に直面した。かかる中、限られた予算の中で医療の質を向上すべく、非効率な医療システムの改善、医療レベルの向上のために世銀等の協力を得ながらセクター改革を行い、医療体制の見直し等に取り組んできており、一定の成果が見られている。他方でハード面については、各医療施設における資金不足から医療機材の更新・新規調達に滞ったため、多くは10年以上前の機材（磨耗率は60～80%、機材ストックの10～20%は使用不可）となっており、最新機材も導入されていない。そのため、高度な医療技術を持つ専門医療従事者は存在するものの、手術が実施出来ない状況となっており、第三次医療施設への最新機材の導入や古い機材の更新が喫緊の課題となっている。

(2) 当該国における保健セクターの開発政策と本事業の位置づけ及び必要性

モルドバ政府はEU加盟による経済開発、貧困削減を最大の政策目標とし、EU加盟へ向けた行動計画として「Europe Integration: Freedom, Democracy, Welfare for 2011-2014」を策定した。この中で貧困削減・公共サービス改善を優先課題として挙げ、医療サービスの向上が大きな課題であるとしている。具体的には、EU基準に準拠した病院等の医療施設及び医療機材の整備を図りつつ、医療サービスについては、第一次医療の充実を図り、第二次医療を地域病院へ集約・整備の上、第三次医療を担う国立病院の整備を進め、病院ネットワーク（リファラル・システム）の再構築を図ることで効率的・効果的な医療サービスを提供していくとしている。

このような背景の下、医療サービス改善事業（以下「本事業」という。）では、資金不足のため20年以上整備が行われていない、キシナウの「共和国臨床病院」を始めとした第三次医療施設などに対し、不足機材・最新機材の新規調達及び老朽化した医療機材の更新を行うものである。

当国の医療従事者のレベルは相応のレベルにあり、政策・制度面の改革の進捗も順調であるが、高度な医療機材の新規導入、老朽化した機材の更新が進んでいないことから、第三次医療施設の機材整備はセクター改革を推進し、医療システム改善を図る上で不可欠である。

(3) 保健セクターに対する我が国及びJICAの援助方針と実績

我が国の対モルドバ援助においては、社会セクター開発を協力重点分野としており、我

が国はこれまでも無償資金協力により 2 度の医療機材供与、及び国立腫瘍学研究所への電力供給のための太陽光発電設備の供与を行ってきたほか、医療・保健関連課題別研修を実施している。

(4) 他の援助機関の対応

世銀は「Health Services and Social Assistance Project」の中で「Hospital Master Plan」を策定し、病院の近代化・ネットワーク再構築を進めている。この一環として「共和国臨床病院」においては IDA、CEB、EU により外科病棟の分離・新設が開始されている。

3. 事業概要

(1) 事業の目的

本事業は第三次医療施設等に医療機材を供与することにより、同国の医療設備体制の整備を図り、もって同国住民が受ける医療サービスの改善に寄与するものである。

(2) プロジェクトサイト/対象地域名

キシノウ市等（詳細は協力準備調査にて検討）

(3) 事業概要（調達方法を含む）（詳細は協力準備調査にて検討）

1) 医療機材調達

2) コンサルティング・サービス（詳細設計、入札補助、施工監理等）

(4) 事業実施体制

1) 借入人：モルドバ共和国政府

2) 事業実施機関：保健省（Ministry of Health）（協力準備調査で確認）

3) 操業・運営／維持・管理体制：保健省が機材の調達を行い、対象病院が維持・管理等を行う（協力準備調査で確認）

(5) 環境社会配慮・貧困削減・社会開発

1) 環境社会配慮

① カテゴリ分類：C

② 本事業は、「国際協力機構環境社会配慮ガイドライン」（2010 年 4 月公布）上、環境への望ましくない影響は最小限であると判断されるため。

2) 貧困削減促進：協力準備調査を踏まえて検討。

3) 社会開発促進（ジェンダーの視点、エイズ等感染症対策、参加型開発、障害者配慮等）：協力準備調査を踏まえて検討。

(6) 他スキーム、他ドナー等との連携

同国の病院に対しては 2 件の無償資金協力を実施。その成果を基盤とする円借款事業を検討する予定。また、世界銀行、EU 等がセクター改革を支援しているため、リファラル制度の効率的な運用といった適切な制度、地域医療システムの改善や、本事業対象病院が供与機材の維持管理を的確に実施出来るような有償勘定技術支援を実施予定。

(7) その他特記事項

診断機器等につき本邦医療機器メーカーの参画を想定。

4. 過去の類似案件の評価結果と本事業への教訓

(1) 類似案件の評価結果

タイ「地方保健施設整備事業」の事後評価結果等から、多数の対象への機材供与を行う事業では、供与先のマネジメント能力が一様でない点に留意すべきである、またマネジメ

ント能力が高いと判断される病院であれば医療機材の選定に一層関与させることが望ましいとの教訓が得られている。

(2) 本事業への教訓

本事業でも、複数の医療施設への機材供与を予定していることから、上記教訓を踏まえ、協力準備調査により対象医療施設のマネジメント能力を確認し、有償勘定技術支援の実施や機材選定への供与先医療施設関係者の参加を検討することとする。

以 上

[別添資料] 地図

医療サービス改善事業地図



- ・ 面積：33,840k m²
- ・ 人口：3,562,000 人（2010 世銀統計）
- ・ 首都：キシノウ（71 万人、2006）
- ・ 民族：モルドバ人（ルーマニア人）（約 78.2%）、ウクライナ人（8.4%）、ロシア人（5.8%）、ガガウズ人（4.4%）、ブルガリア人（1.9%）
- ・ 言語：モルドバ語（76.51%）、ロシア語（11.2%）、ウクライナ語（5.51%）、ガガウズ語（4.07%）
- ・ 宗教：キリスト教（正教）
- ・ 国家体制：共和制
- ・ 元首：ニコラエ・ティモフティ大統領（2012 年 3 月就任～）
- ・ 政府：自由民主党、民主党、自由党の連立政権 首相：ヴラド・フィラト首相（2009 年 9 月就任～）
- ・ 議会：1 院制（定数 101 名）
- ・ GNI：\$1,810（2010 世銀統計）
- ・ 貧困率：21.9%（2010 世銀統計）
- ・ 失業率：6.4%（2009 世銀統計）

モルドバ概要：

モルドバは、領土の中に分離主義勢力（沿ドニエストル「共和国」）を抱えており、現在紛争は停戦状態にあるが、領土の分断状態の固定化が懸念される。

また、「欧州の最貧国」であるとされ、一人あたりの国民総所得（GNI）は依然として低い水準（1,810USドル、2010 年、世界銀行）に留まっている。海外送金がGDP の4 割程度を占めているが、今般の金融危機により減少し、職を失った出稼ぎ労働者が帰国しており、失業者は増加している。

出典：アメリカ国務省ホームページ